

走行チェックシート

日付	2010年4月18日 (日)		時間	~	イベント	2010MFJ全日本ロードレース選手権シリーズRd.2			
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L0		ライダー	新庄雅浩		
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	16.5 °C			
	コンディション	DRY			気圧	1022 hpa			
	路面温度	35.8 °C (計測時間)			湿度	32 %			
エンジン	スパークプラグ	NGK R0045Q-10		エンジンOIL	シェルアドバンス				
	ファイナルレシオ	16 × 42(2.625)							
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.19	4th	B(31/21)	1.48			
	2nd	B(34/18)	1.89	5th	B(28/21)	1.33			
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(32/25)	1.28			
フロント	パーツ名	SHOWA (760mm)		TEN	-15				
	スプリング	9.75	N/m	OIL	SR6 #5				
	自由長	mm		油面	140		mm		
	イニシャル	12	mm	残ストローク	22		mm		
	COMP	-25		突き出し	STDトップブリッジで7mm突き出し mm				
リア	パーツ名	SHOWA (321.5mm)		TEN	-15				
	スプリング	120.0	N/m	残ストローク	mm				
	自由長	mm		リンク	STD				
	イニシャル	13	mm	リンクロッド	140		mm		
	COMP (HI)	+2		車高	STD+8mm ピボット-3mm スイング長599mm mm				
	COMP (LO)	-8							
タイヤ	フロント			リア					
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ				
	サイズ	125/80/16.5		サイズ	200/70R420				
	エア圧	2.1		エア圧	1.8				
チェック	順位	9		ベストラップ	2'12.221				
	水温	85	°C	油温	137		°C		
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km			
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ			

<コメント>

あっという間に鈴鹿のレースウィークです。
 前回筑波の決勝が終わりそのまま鈴鹿へ移動。翌日に整備をし、その次の日から二日間テストです。
 ライダーもメカニックも家を出てから約一週間、そろそろ自分の布団で眠りたいと思いつつ走行が始まりました。
 車体は筑波の仕様を鈴鹿に反映させてスタート。
 筑波でもそうでしたがコーナーの立ち上がりで、アクセル開けてからのリヤの動きが出ていくところは変わらずでした。
 鈴鹿はデータで確認して新庄君の走り方を変えていくという方向で車体はそれほど大きく振りませんでした。
 非公式ですが、テストでは2'11.7が出て来週のレースウィークに向けて詰めどころを打ち合わせました。
 レースウィークに入り小雨のぱらつく中走行がスタート。午後は確実に雨なのでドライで走行できるのは今だけです。
 丁寧に探りながらですが、タイヤの違いや状況を確認。
 翌日の予選は晴れるので午後の雨の走行はキャンセルです。
 明けて予選、今回はノックアウトなのでQ3まで残りなんとかわいい順位でスタートしたいところです。
 路面のコンディションは良くなさそうですが上位に比べてタイムの上がり幅が少ないです。
 結局予選はQ3まで残ることが出来8位でした。
 決勝に向けてもう少し車体を良くしていこうと思ったが車体の制限があり現状でスタートせざるをえませんでした。
 決勝がスタートし、集団がばらけていって新庄君は8番手争いのグループです。
 途中順位を入れ替えながらレースは最終ラップ。
 シケインで仕掛けたようですが届かず9位でフィニッシュしました。
 今回は課題の多く残るレースでしたが、次回オートポリスはそれらをクリアできるように進めていきます。
 今回も応援ありがとうございました。

レーシングサプライ
 畑中 健太郎